

職場体験レポート

作成者

松山市立内宮中学校

2年 氏名：守田 文



職場の紹介 株式会社 修斗

創業：平成22年
住所：松山市権現町
特色：第6次産業の会社である。
従業員：19人

生産（第1次産業）加工・製造（第2次産業）販売・流通（第3次産業）を行っている。松山空港ビル内にオレンジバー店舗を構えている。12月中旬、梅津寺に「みきゃんパーク」がオープンした。



こんな職場です！

事業所の写真



職場で体験したこと

〈紅まどんなの枝をつる作業〉

紅まどんなは枝が柔らかいため、実が大きくなると枝をつります。枝をつる作業で気を付けることは、なるべく光が当たるようにすることです。そのために一つ一つの高さを変えないといけません。とても集中力がある上に、たくさん数があるので、素早く丁寧に作業をすることが大切です。

〈ペットボトルのラベルはぎ〉

加工品に使うためのジュースを入れているペットボトルのラベルを、分別するためにはぎます。一つ一つが手作業なので、とても忍耐力がいる作業です。どのような方法が楽にできるかを考えて行うことで、スムーズにできるようになりました。全て終わったときには、達成感を味わうことができました。

〈空港の見学〉

松山空港へ行き、売り場の様子を見学しました。たくさんの製品がありますが、中でも、蛇口から出るオレンジジュースが有名です。この中身のジュースは、全て愛媛県産みかんを使っているため、愛媛県からも認められています。飲ませてもらうと、とてもおいしかったです。



体験学習を通して

うれしかったこと、うまくできたこと

枝をつる作業が難しく、初めはうまくできなかったけれど、職員の人のアドバイスを受け、少しずつうまくできるようになったことです。また、ラベルはぎでは、全て終わったとき、みんなと一緒に喜び合い、仲間との達成感が生まれました。

大変だったこと、失敗したこと

外での作業だったので、暑さが厳しく、汗がたくさん出て、とても大変でした。また、長時間の集中力の維持も難しかったです。しかし、職場の人はそんな大変さも見せず作業をしていて、すごいと思っただけで尊敬しました。

感想

働く人の姿から学んだこと

一つ一つの作業に対しての工夫がありました。それは、決められていることではなく、自分で考えて行動しているそうです。学校でもよく言われている「自分で考え行動する」ことが将来につながることを学びました。

全体を通して学んだこと

一つ目は、「働く意義」です。体験してみて、働くことは大変だけど、充実感や楽しさがあるから、働けると思いました。二つ目は、「今するべきこと」です。中学生の今は、勉強をしっかりと、視野を広げておくことが大切だと思いました。